

業績ハイライト (2025年9月期)

親会社株主に帰属する 中間純利益

303億円

前年同期比 +117億円

経常利益

417億円

前年同期比 +162億円

ROE

9.21%

前期末比 +3.16ポイント

自己資本比率

9.90%

前期末比 Δ0.25ポイント

預金・譲渡性預金残高

14兆2,153億円

前期末比 +1,834億円

貸出金残高

10兆4,919億円

前期末比 +334億円

有価証券残高

2兆2,560億円

前期末比 Δ626億円

OHR ※2行合算

53.99%

前年同期比 Δ7.77ポイント

株式情報 (2025年9月30日現在)

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月(基準日:毎年3月31日)
- 単元株式数 100株
- 配当基準日 期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
- 公告方法 電子公告
(当行ホームページ <https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>)
ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
- 株式事務取扱場所 【お問い合わせ先・郵便物送付先】
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324

株主優待制度

対象となる株主さま

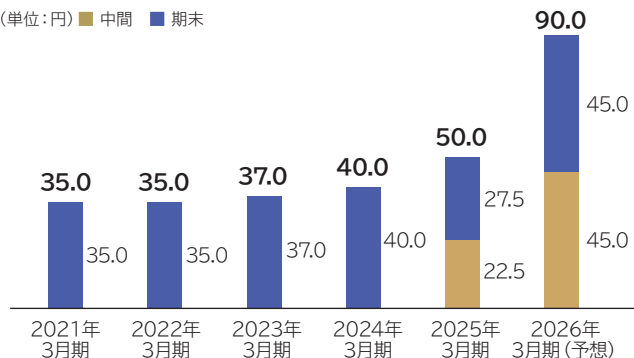
毎年3月31日を基準日とし、当社株主名簿に記載または記録された500株(5単元)以上の株式を継続して1年以上保有する株主さま※

保有株式数	専用カタログ商品
500株以上2,000株未満	5,000円相当
2,000株以上	10,000円相当

※継続して1年以上保有する株主さまとは、毎年3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で連続して3回以上記載または記録されている株主さまといたします。

普通株式年間配当(1株当たり)

(単位:円) ■ 中間 ■ 期末



2025

Interim Mini Disclosure

2026年3月期 営業の中間ご報告

プロフィール

2025年9月30日現在

名 称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
設 立 日 2003年9月26日
本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
資 本 金 708億9,500万円
従 業 員 数 連結7,276名
単体 234名



取締役社長 中澤 宏
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 兼間 祐二
(北海道銀行 頭取)

平素は格別のお引き立てをいただき、心より感謝申し上げます。
国内では、企業業績の改善や賃金上昇を背景に、景気は緩やかに回復しています。一方で、物価上昇が家計や企業のコスト負担を押し上げるなど、依然として先行きには不透明感が残っています。主要営業地域である北陸では、設備投資の回復や新幹線延伸を契機とした交流の拡大がみられ、北海道では、GX関連投資や次世代半導体産業の進展など、地域経済に明るい動きが広がっています。
当社グループは、「地域を超えて、輝く未来を創る。」をパーパスに掲げています。また、「あなたとこのまちの嬉しいが、私たちの一番。」というクレドのもと、地域やお客さまに寄り添い、課題解決の原動力となることを目指しています。このパーパスとクレドの実現に向けて、第6次中期経営計画「NEXT STAGE」では、地域・お客さまの課題解決と企業価値向上の両立を目指して取り組んでまいります。
地域社会の持続的な発展と豊かな暮らしの実現に貢献するとともに、金融の枠を超えた新たな価値創出に挑戦してまいります。皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

パーパス（存在意義）

地域を超えて、輝く未来を創る。

あなたとこのまちの嬉しいが、私たちの一番。

経営理念

地域共栄 公正堅実 進取創造

ビジョン（目指す姿）

広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献します。

株主優待制度の導入

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高めるため、株主優待制度を導入いたしました。

地域の魅力を感じながら、当社株式を長期保有いただけるよう、当社プライムエリア（北海道、富山県、石川県、福井県）の特産品を取り揃えたカタログからお選びいただけます。

2025年3月31日を初回基準日とし、今夏対象の皆さまのお手元にお届けしました。



文化を通じた能登半島地震の復興支援

当社グループは、丸紅株式会社と共同で能登半島地震の復興支援ボランティアを実施してまいりました。その一環として、両社のギャラリーであるギャラリー・ミレー（北陸銀行）と丸紅ギャラリーにおいて、被災地支援を目的とした特別展を開催いたしました。ギャラリー・ミレーでは輪島塗や加賀友禅など地域の伝統文化を紹介し、丸紅ギャラリーでは友禅染の名品や北陸の魅力を伝える作品を展示いたしました。両展覧会の入館料は全額、能登半島地震の復興支援に寄付いたします。



住宅ローン顧客満足度調査で高評価獲得

北陸銀行および北海道銀行は、オリコン株式会社が発表した「2025年オリコン顧客満足度®調査」において、北陸銀行が「住宅ローン 甲信越・北陸部門」で第1位、北海道銀行が「同 北海道部門」で10年連続第1位を獲得いたしました。

両行では、8大疾病保障や全疾病保障など充実した保障ラインナップを取り揃えるとともに、各地域にローンプラザを設置しております。今後もお客さま一人ひとりに寄り添ったサービスの提供に努めてまいります。

ファイターズ定期預金キャンペーンを実施

北海道銀行は、オフィシャルスポンサーを務める北海道日本ハムファイターズの激闘を称え、「感動をありがとう！ファイターズ定期預金キャンペーン」を実施いたしました。

本キャンペーンは、多くのお客さまにご好評いただき、当初の募集総額を大きく上回る207億円のお申し込みをいただきました。

当社グループは、スポーツを通じて地域に感動と活力を届ける取り組みを進めてまいります。

※本キャンペーン定期預金の取扱いはずでに終了しております。



第6次中期経営計画

第6次中期経営計画「NEXT STAGE」

第6次中期経営計画「NEXT STAGE」（～2028年3月）を2025年4月からスタートさせております。本計画では、前計画で掲げた「挑戦」から「実現」へとステージを進め、地域・お客さまの課題解決と企業価値向上の両立を目指す3年間の計画です。

北陸・北海道・三大都市の地域ポテンシャルを見据え、「金融・非金融の融合による課題解決力の深化」「持続的な成長を支える経営基盤の強化」「多様な人材が活躍し活力あふれる企業文化の定着」の3つの戦略エンジンを推進し、地域とともに次のステージへ歩みを進めてまいります。

経営指標

計画項目	2025年9月期 (中間実績)	2028年3月期 (計画最終年度)	長期目標 (10年後)
連結ROE	9.21%	8%台	10%
連結当期純利益	303億円	550億円	800億円
自己資本比率	9.90%	10%台	10～11%
OHR(2行合算)	53.99%	50%台	50%程度